

**大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果**

研究開発課題名:	iPS 細胞由来ヒト腸管オルガノイドの創薬支援事業モデルの構築と検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	国立成育医療研究センター 研究所 部長 阿久津 英憲

1. SCORE での活動目的

腸の吸収評価系として知られるヒト小腸細胞(Caco-2 細胞)に比し、構造的・機能的にヒトの正常な小腸に近く、かつ蠕動様収縮運動も行える立体的iPS細胞由来腸管オルガノイドの使用意向や用途の可能性について、創薬や食品メーカーにヒアリングを行い、事業モデルの構築と検証を行う。

2. 総合所見

製薬企業や食品会社へのヒアリングにより、ミニ腸の有用性に対するニーズを明確化し、事業化に向けて研究開発内容やビジネスモデルをブラッシュアップした点を評価する。製品規格等の検討を進め、事業化を実現することに期待する。

以上